

平成29年3月期 決算説明資料

平成29年5月10日

CUBE SYSTEM



(証券コード：2335)



I 平成29年3月期 決算概況

II 平成30年3月期 見通し

巻末資料

I 平成29年3月期 決算概況

CUBE SYSTEM



1. 連結損益計算書概要
2. 会計期間推移
3. 営業利益の増減要因
4. 品目別売上高・売上総利益推移
5. 業種別売上高・売上総利益推移
6. 顧客グループ会社に対する売上高推移
7. 一人当たり指標
8. 自己資本およびROEの推移
9. 株主数および時価総額の推移



1. 連結損益計算書概要

「売上高」

金融業にて減収も、通信業（電力小売り自由化対応）、官公庁にて増収となり堅調に推移

「営業利益」

人件費の増加※により減益

※前事業年度に行った退職給付債務の割引率引き下げ等に伴う未認識数理差異の影響額204百万円によるもの
（発生した数理計算上の差異 380百万円は3年の定率法により平成29年3月期から費用処理いたしております）

(単位：百万円)

	28/3	29/3	前期比	29/3 計画※	計画比
売上高	12,622	12,899	102.2%	14,000	92.1%
営業利益 (営業利益率)	949 (7.5%)	781 (6.1%)	82.3%	920 (6.6%)	84.9%
経常利益 (経常利益率)	960 (7.6%)	811 (6.3%)	84.5%	940 (6.7%)	86.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (同当期純利益率)	628 (5.0%)	551 (4.3%)	87.7%	530 (3.8%)	104.0%

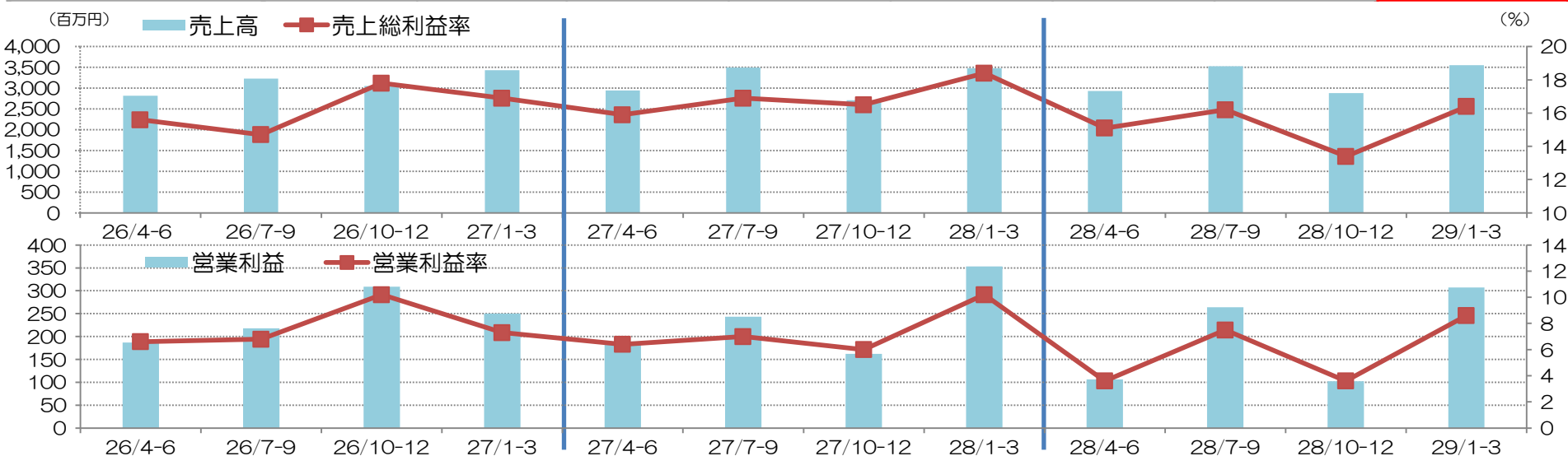
※計画は、平成28年10月27日発表の平成29年3月期業績予想



2. 会計期間推移

(単位：百万円)

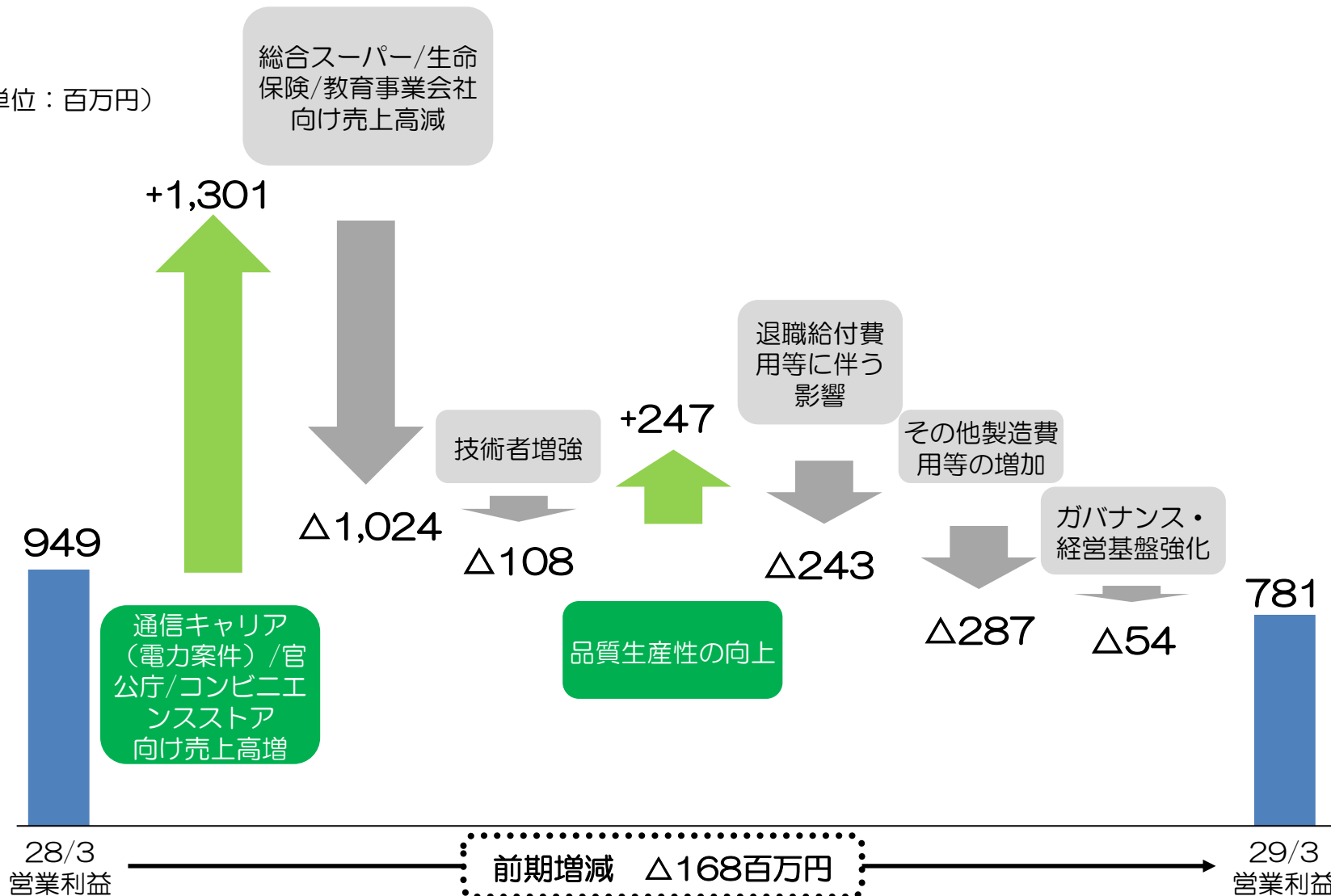
	27/4-6 1Q	27/7-9 2Q	27/10-12 3Q	28/1-3 4Q	28/4-6 1Q	28/7-9 2Q	28/10-12 3Q	29/1-3 4Q
売上高	2,944	3,492	2,709	3,474	2,934	3,529	2,882	3,553
売上原価	2,475	2,904	2,261	2,834	2,492	2,955	2,495	2,969
売上総利益	468 (15.9%)	588 (16.9%)	448 (16.5%)	640 (18.4%)	441 (15.1%)	573 (16.2%)	386 (13.4%)	583 (16.4%)
販売費および 一般管理費	279	344	285	287	335	309	283	276
営業利益	189 (6.4%)	243 (7.0%)	162 (6.0%)	353 (10.2%)	106 (3.6%)	264 (7.5%)	102 (3.6%)	307 (8.6%)
経常利益	195 (6.6%)	268 (7.7%)	173 (6.4%)	323 (9.3%)	99 (3.4%)	278 (7.9%)	111 (3.9%)	322 (9.1%)
親会社株主に 帰属する当期純利益	122 (4.2%)	122 (3.5%)	109 (4.1%)	273 (7.9%)	57 (2.0%)	199 (5.6%)	68 (2.4%)	226 (6.4%)





3. 営業利益の増減要因

(単位：百万円)

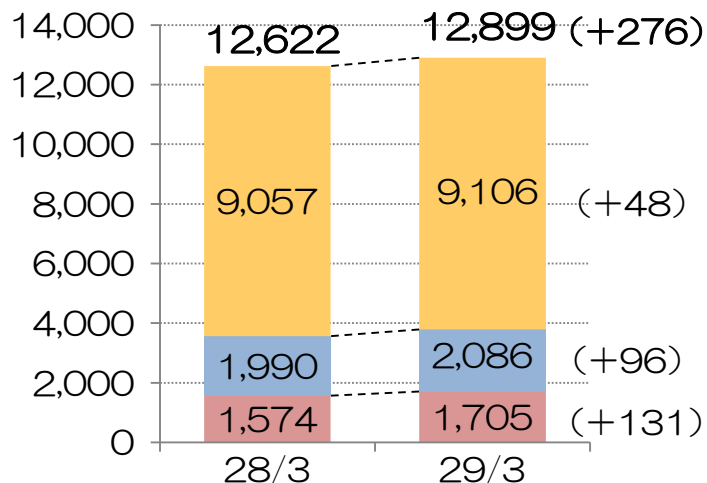




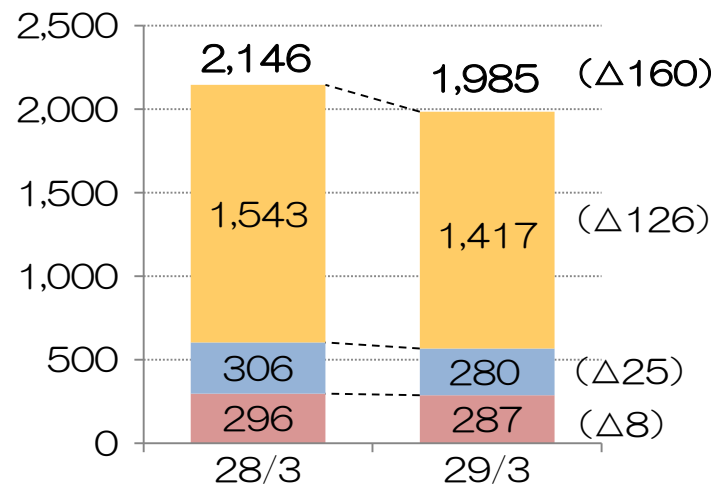
4. 品目別売上高・売上総利益推移

サービス品目	売上高 前期比	売上総利益 前期比	増減要因
システムインテグレーション・サービス	100.5%	91.8%	<ul style="list-style-type: none"> 通信キャリア向け電力小売自由化案件の受注拡大 銀行向け開発案件の受注拡大 生命保険会社向けおよび教育事業会社向け開発案件の規模縮小
システムアウトソーシング・サービス	104.8%	91.6%	<ul style="list-style-type: none"> コンビニエンスストア向け案件の受注拡大 教育事業会社向けエンハンスサービス案件の規模縮小
プロフェッショナル・サービス	108.3%	97.0%	<ul style="list-style-type: none"> 官公庁向けおよび通信キャリア向け基盤構築案件の受注拡大
合計	102.2%	92.5%	

◆ 売上高（百万円）



◆ 売上総利益（百万円）

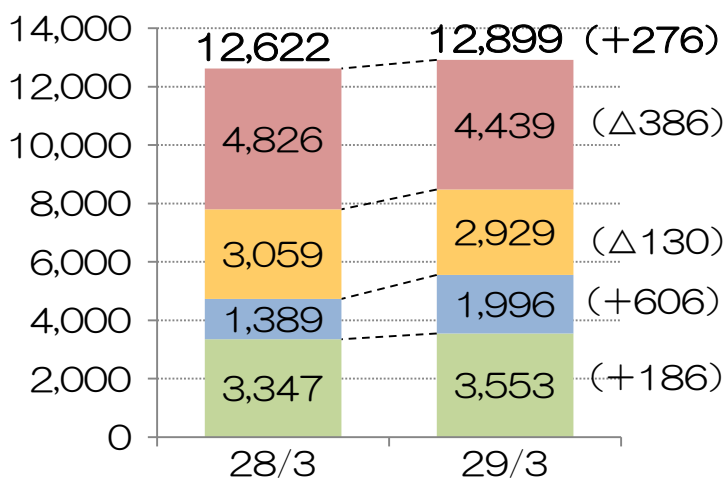




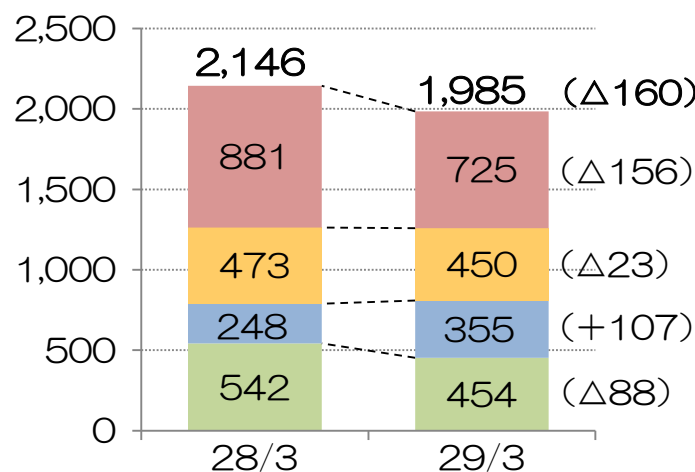
5. 業種別売上高・売上総利益推移

業種	売上高 前期比	売上総利益 前期比	増減要因
金融業	92.0%	82.2%	・生保向け開発案件の規模縮小および品質向上施策の実施による利益率低下
流通業	95.7%	95.1%	・コンビニエンスストア向け案件の受注拡大 ・総合スーパー向け及びホームセンター向け開発案件の規模縮小
通信業	143.7%	143.5%	・通信キャリア向け電力小売り自由化案件／基盤構築案件の受注拡大 ・通信キャリア向けニアショア開発案件の受注拡大
その他	105.6%	83.7%	・官公庁向け開発案件の受注拡大 ・電力事業会社および教育事業会社向け開発案件の規模縮小

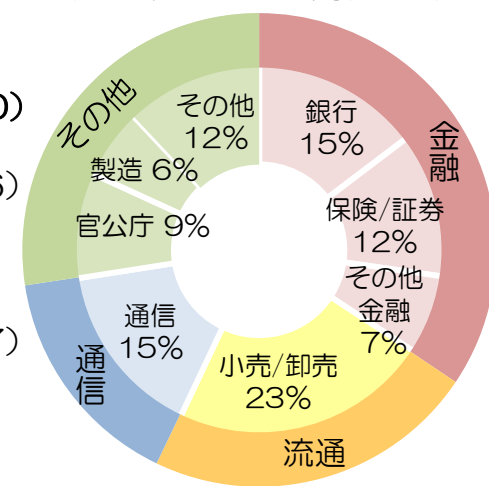
◆ 売上高 (百万円)



◆ 売上総利益 (百万円)



◆ 29/3 業種別売上高構成詳細

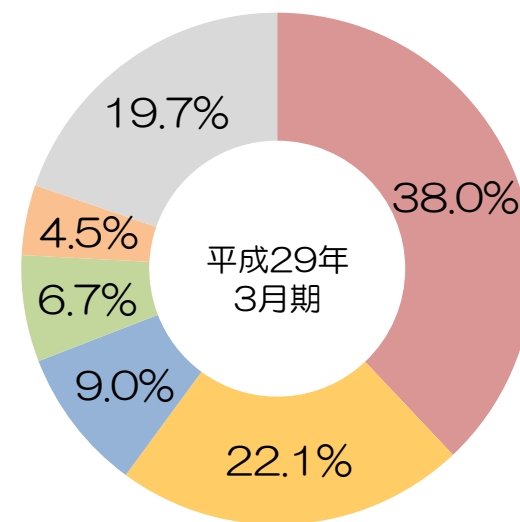




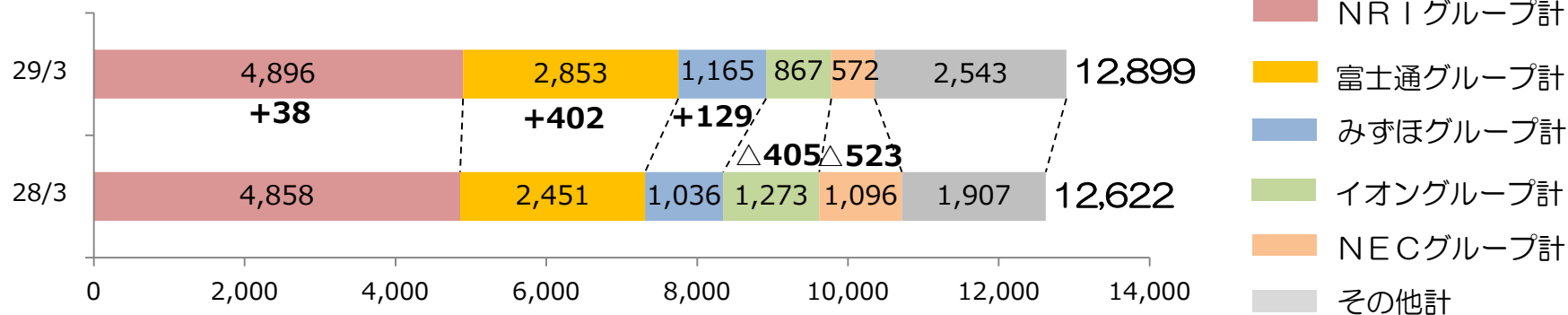
6. 顧客グループ会社に対する売上高推移

グループ	売上高 構成比	売上高 前期比
NR Iグループ	38.0%	100.8%
富士通グループ	22.1%	116.4%
みずほグループ	9.0%	112.5%
イオングループ	6.7%	68.1%
NECグループ	4.5%	52.2%
グループ5社合計	80.3%	96.6%

◆ 売上高構成比



◆ 売上高 (百万円)

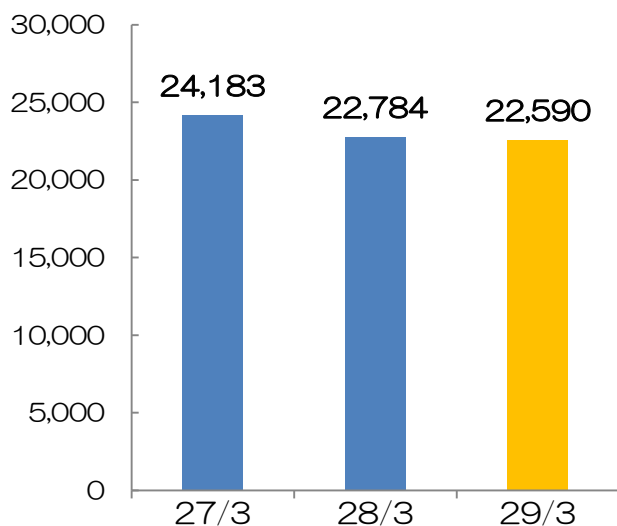




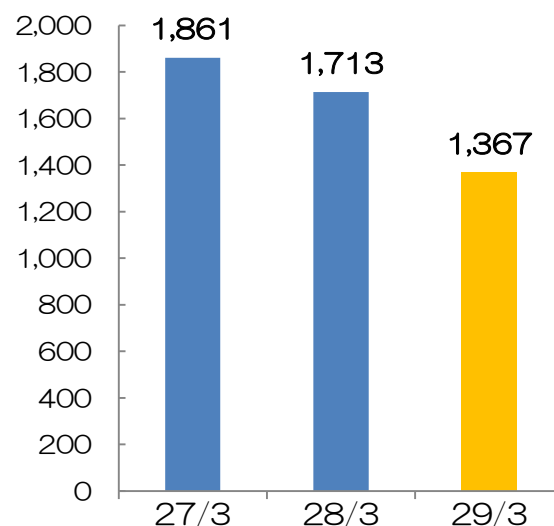
7. 一人当たり指標

※「国内従業員数」にて算出しております。

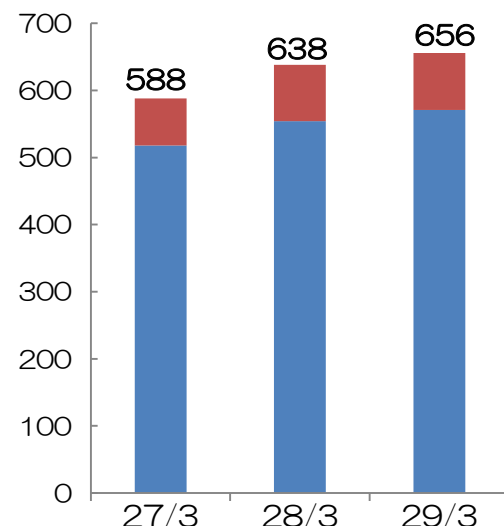
● 一人当たり売上高※ (単位：千円)



● 一人当たり営業利益※ (単位：千円)



● 従業員数 (単位：人)

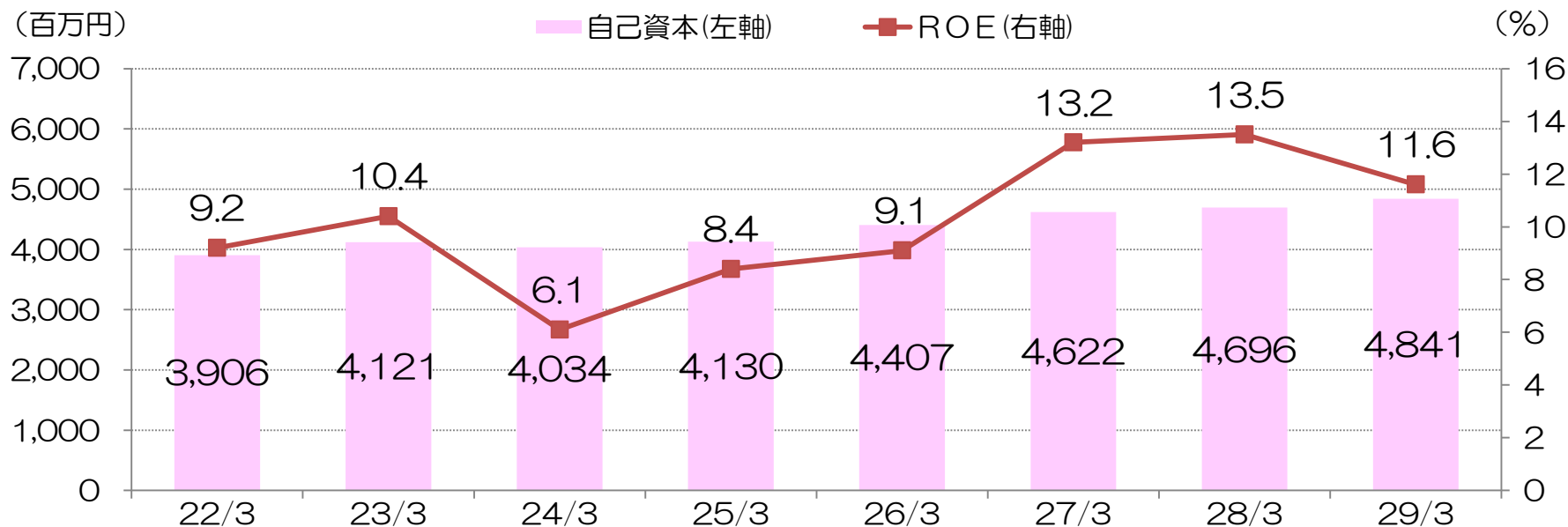


(単位：千円/人)

	27/3	28/3	29/3	前年増減額
一人当り売上高	24,183	22,784	22,590	△194
一人当り営業利益	1,861	1,713	1,367	△346
従業員数 合計	588	638	656	+18
国内従業員数	518	554	571	+17
海外従業員数	70	84	85	+1



8. 自己資本およびROEの推移



※1 平成23年3月期は、年金制度移行に伴い発生した過去勤務債務を除いて利益額を調整し算出しております。

※2 平成24年3月期は、税率変更並びに繰延税金資産の一部取崩しによる法人税等調整額の増加分を除いて利益額を調整し算出しております。

今後も資本効率および利益率の向上を図り、
ROE 10%以上を継続的に目指してまいります。



9. 株主数および時価総額の推移

株式
分割

1:1.5
分割

一般
募集

1:2
分割

1:1.5
分割

1:2
分割

上場
区分

東証2部上場
(平成18年11月)

東証1部上場
(平成26年3月)

(人)

(億円)

株主数(左軸)

時価総額(右軸)



Ⅱ 平成30年3月期 見通し

CUBE SYSTEM



1. 品目別受注状況
2. 業種別受注状況
3. 業績見通しの概要
4. 業種別売上高見通し
5. 配当金および配当性向の推移



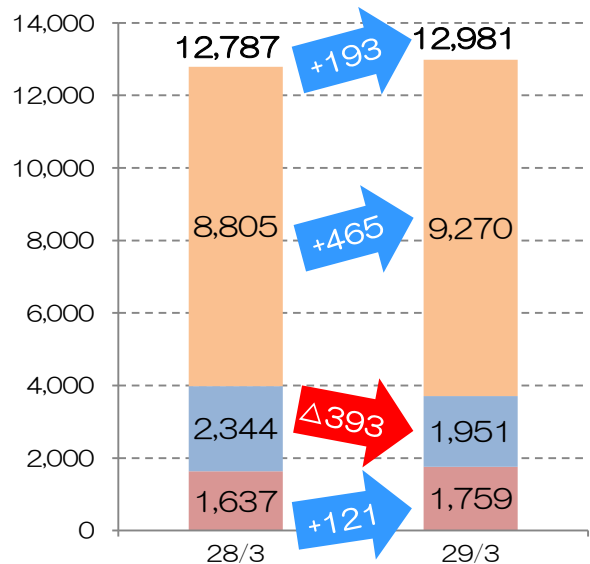
1. 品目別受注状況

◆ 品目別受注状況

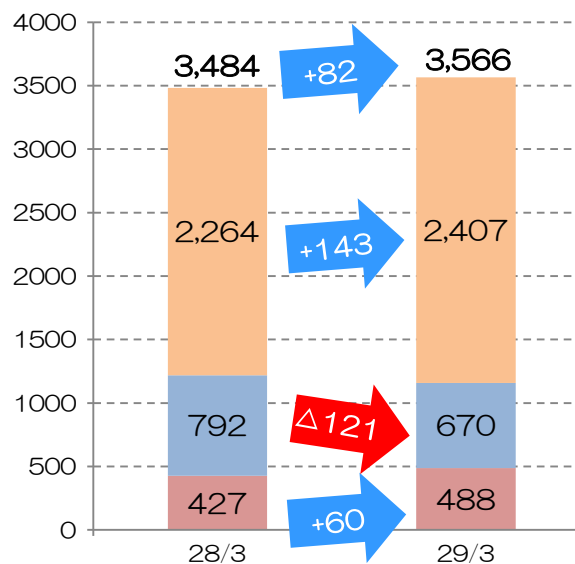
(単位：百万円)

	28/3		29/3			
	受注高	期末受注残高	受注高	前期比	期末受注残高	前期比
システムインテグレーション・サービス	8,805	2,264	9,270	105.3%	2,407	106.3%
システムアウトソーシング・サービス	2,344	792	1,951	83.2%	670	84.6%
プロフェッショナル・サービス	1,637	427	1,759	107.4%	488	114.2%
合計	12,787	3,484	12,981	101.5%	3,566	102.4%

◆ 受注高推移 (百万円)



◆ 受注残高推移 (百万円)





2. 業種別受注状況

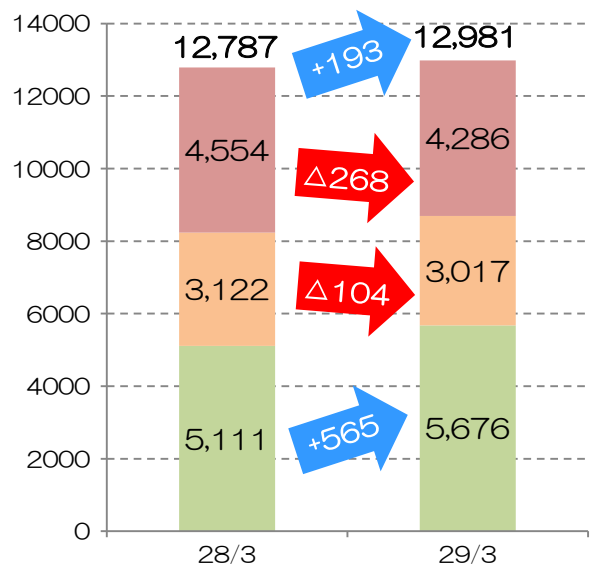
◆ 業種別受注状況

(単位：百万円)

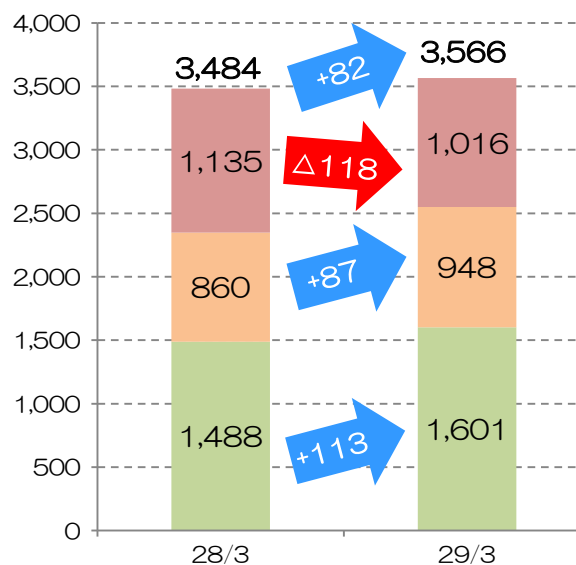
	28/3		29/3			
	受注高	期末受注残高	受注高	前期比	期末受注残高	前期比
金融業	4,554	1,135	4,286	94.1%	1,016	89.5%
流通業	3,122	860	3,017	96.7%	948	110.2%
その他	5,111	1,488	5,676	111.1%	1,601	107.6%
合計	12,787	3,484	12,981	101.5%	3,566	102.4%

金融業 流通業 その他

◆ 受注高推移 (百万円)



◆ 受注残高推移 (百万円)





3. 業績見通しの概要

「売上高」

- ✓ 主要顧客への「アカウント戦略」推進による既存ビジネスでの受注拡大
- ✓ 強みを活用した新領域への展開（海外での事業/新規事業）による拡大

「営業利益増減要因」

- ✓ サービス提供型ビジネスモデルへの変革による利益率向上
- ✓ 積極的な研究開発活動（ブロックチェーン技術/AI・ビッグデータ活用技術）
- ✓ 退職給付債務の割引率引き下げ等による、未認識数理差異の償却半減

（単位：百万円）

	29/3 実績	30/3 見通し	増減額	前期比
売上高	12,899	14,300	1,400	110.9%
営業利益 (営業利益率)	781 (6.1%)	1,060 (7.4%)	278	135.7%
経常利益 (経常利益率)	811 (6.3%)	1,080 (7.6%)	268	133.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (同当期純利益率)	551 (4.3%)	650 (4.5%)	98	117.9%

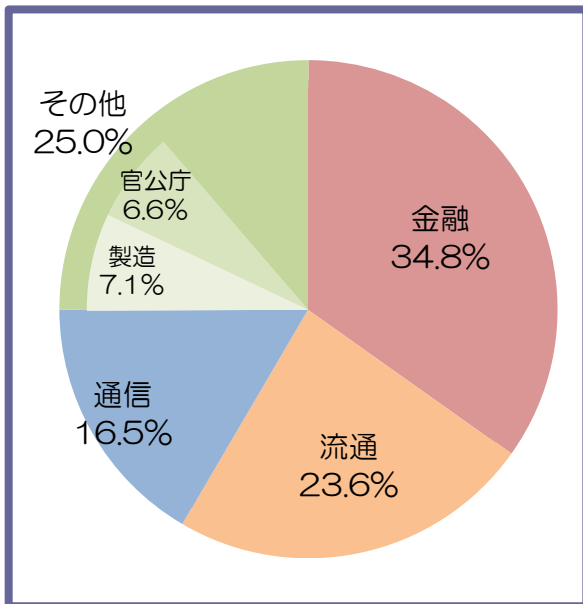


4. 業種別売上高見通し

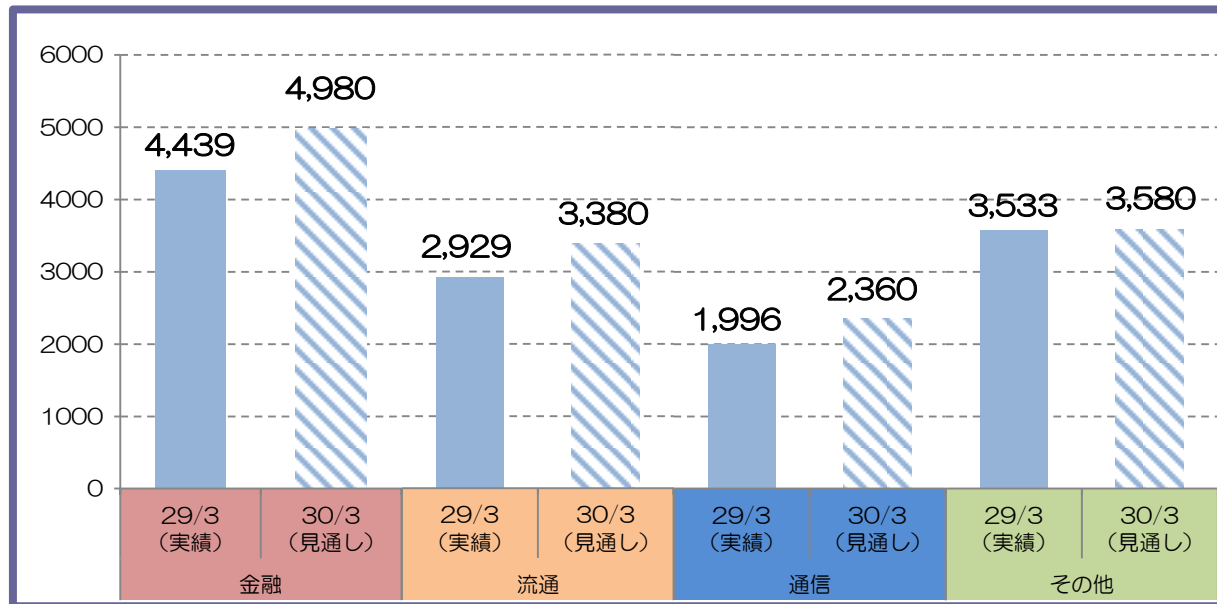
(単位：百万円)

業種	29/3		30/3		前期比
	実績	構成比	見通し	構成比	
金融	4,439	34.4%	4,980	34.8%	112.2%
流通	2,929	22.7%	3,380	23.6%	115.4%
通信	1,996	15.5%	2,360	16.5%	118.2%
その他	3,533	27.4%	3,580	25.0%	101.3%
合計	12,899	100.0%	14,300	100.0%	110.9%

◆ 業種別売上高構成比 (30/3見通し)

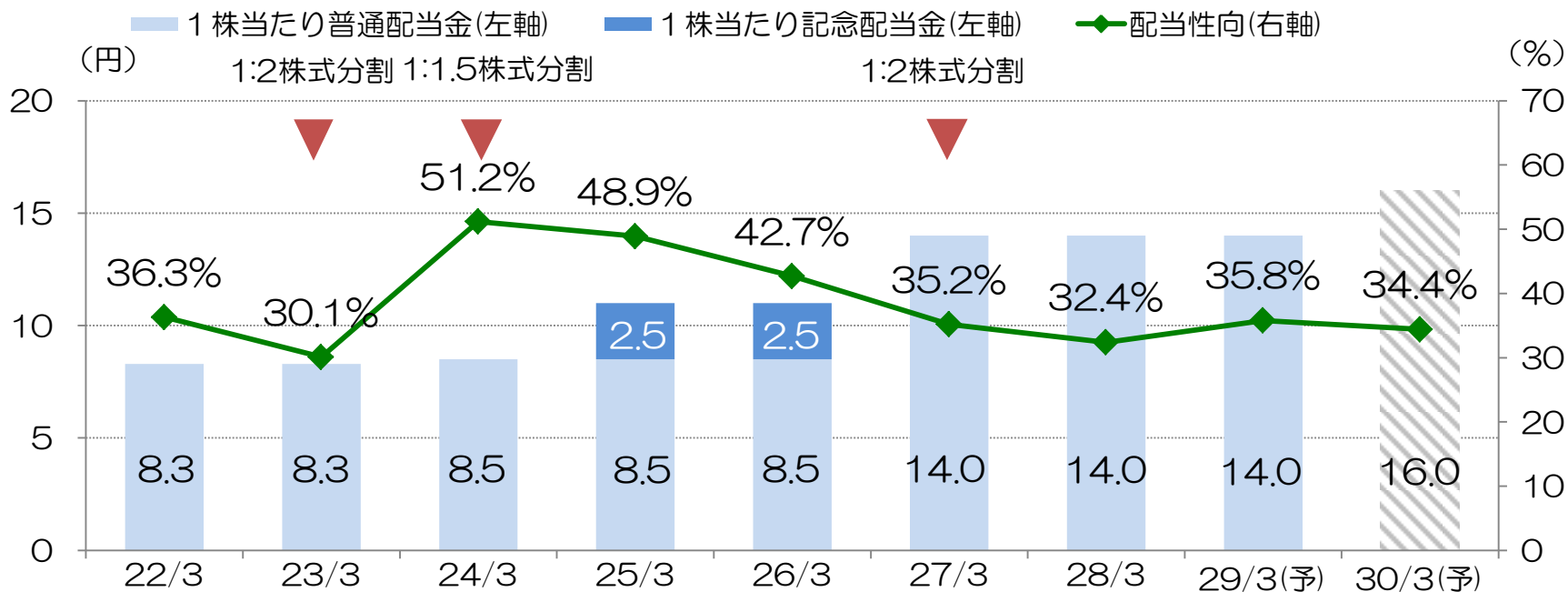


◆ 業種別売上高推移 (百万円)





5. 配当金および配当性向の推移



※1 配当金は、平成22年4月1日の1：2の株式分割および平成23年4月1日の1：1.5の株式分割、平成26年10月1日の1：2の株式分割の影響を遡及して調整しております。

※2 平成23年3月期は、年金制度移行に伴い発生した過去勤務債務を除いて利益額を調整し配当性向を算出しております。

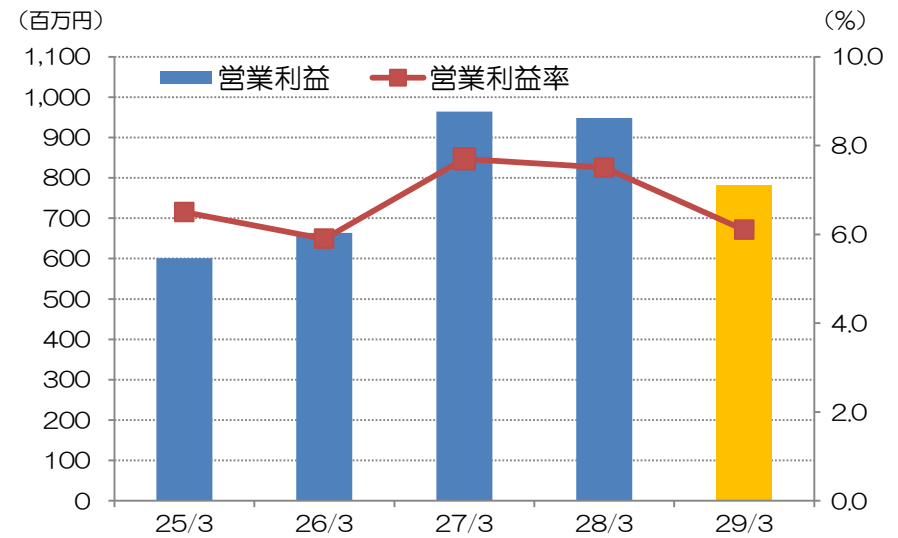
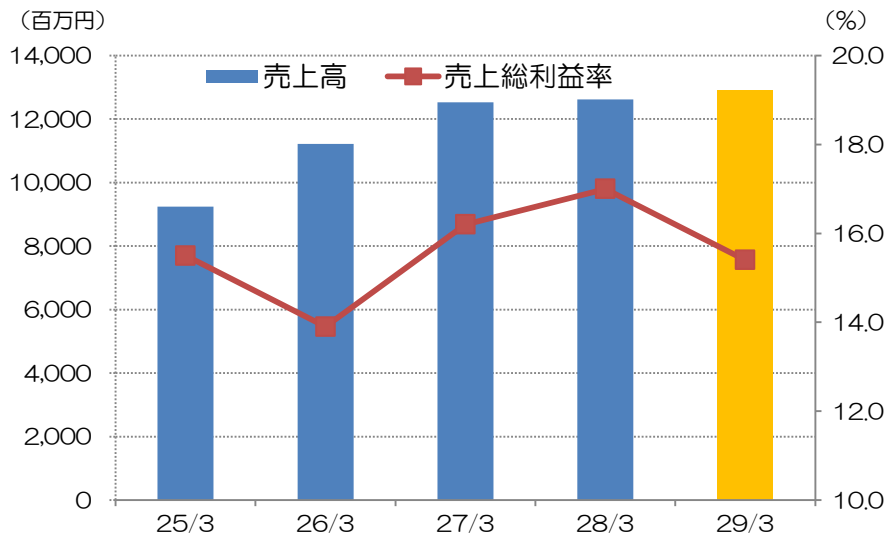
※3 平成24年3月期は、税率変更並びに繰延税金資産の一部取崩しによる法人税等調整額の増加分を除いて利益額を調整し配当性向を算出しております。

**今後も収益性の向上に努め、
安定的な配当を継続してまいります。**

卷末資料

- 1) 5力年推移
- 2) 連結貸借対照表 主要項目抜粋
- 3) 品目別売上高・売上総利益
- 4) 業種別売上高・売上総利益
- 5) 主要顧客別売上高推移
- 6) 資産・資本関連
- 7) 株価・株式関連

1) 5カ年推移



(単位：百万円)

	25/3	26/3	27/3	28/3	29/3	前期比
売上高	9,241	11,217	12,527	12,622	12,899	102.2%
売上原価	7,809	9,661	10,491	10,476	10,913	104.2%
売上総利益	1,431 (15.5%)	1,555 (13.9%)	2,035 (16.2%)	2,146 (17.0%)	1,985 (15.4%)	92.5%
販売費及び一般管理費	830	890	1,071	1,197	1,204	100.7%
営業利益	601 (6.5%)	664 (5.9%)	964 (7.7%)	949 (7.5%)	781 (6.1%)	82.3%
経常利益	606 (6.6%)	701 (6.3%)	980 (7.8%)	960 (7.6%)	811 (6.3%)	84.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	337 (3.7%)	386 (3.4%)	594 (4.7%)	628 (5.0%)	551 (4.3%)	87.7%

2) 連結貸借対照表 主要項目抜粋

(単位：百万円)

資産の部			
	28/3	29/3	増 減
流動資産	5,221	5,549	+327
現金及び預金	2,436	2,842	+405
売掛金	2,277	2,242	△35
有価証券	—	200	+200
仕掛品	224	49	△175
その他	282	216	△66
固定資産	2,103	1,853	△249
有形固定資産	406	320	△86
無形固定資産	3	3	△0
投資その他の資産	1,692	1,530	△162
資産合計	7,324	7,403	+78

負債の部			
	28/3	29/3	増 減
流動負債	1,790	1,713	△77
買掛金	600	626	+26
短期借入金	240	240	—
その他	950	846	△103
固定負債	815	824	+9
負債合計	2,606	2,538	△67
純資産の部			
	28/3	29/3	増 減
株主資本	4,882	4,828	△53
その他の包括利益累計額	△185	12	+198
非支配株主持分	22	24	+1
純資産合計	4,718	4,865	+146
負債・純資産合計	7,324	7,403	+78

3) 品目別売上高・売上総利益

(単位：百万円)

		28/3	29/3	前期比
システムインテグレーション・サービス	売上高	9,057	9,106	100.5%
	売上総利益	1,543	1,417	91.8%
	売上総利益率	17.0%	15.6%	
システムアウトソーシング・サービス	売上高	1,990	2,086	104.8%
	売上総利益	306	280	91.6%
	売上総利益率	15.4%	13.5%	
プロフェッショナル・サービス	売上高	1,574	1,705	108.3%
	売上総利益	296	287	97.0%
	売上総利益率	18.8%	16.9%	
合計	売上高	12,622	12,899	102.2%
	売上総利益	2,146	1,985	92.5%
	売上総利益率	17.0%	15.4%	

4) 業種別売上高・売上総利益

(単位：百万円)

		28/3	29/3	前期比
金融業	売上高	4,826	4,439	92.0%
	売上総利益	881	725	82.2%
	売上総利益率	18.3%	16.3%	—
流通業	売上高	3,059	2,929	95.7%
	売上総利益	473	450	95.1%
	売上総利益率	15.5%	15.4%	—
通信業	売上高	1,389	1,996	143.7%
	売上総利益	248	355	143.5%
	売上総利益率	17.9%	17.8%	—
製造業	売上高	633	792	125.1%
	売上総利益	76	91	119.8%
	売上総利益率	12.1%	11.6%	—
官公庁	売上高	660	1,196	181.1%
	売上総利益	104	153	146.6%
	売上総利益率	15.8%	12.8%	—
その他	売上高	2,053	1,544	75.2%
	売上総利益	361	209	57.8%
	売上総利益率	17.6%	13.5%	—

5) 主要顧客別売上高推移

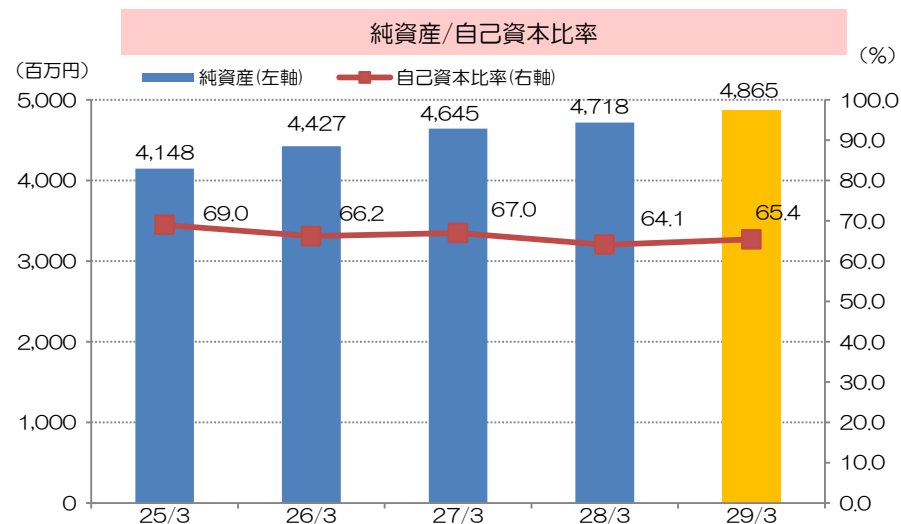
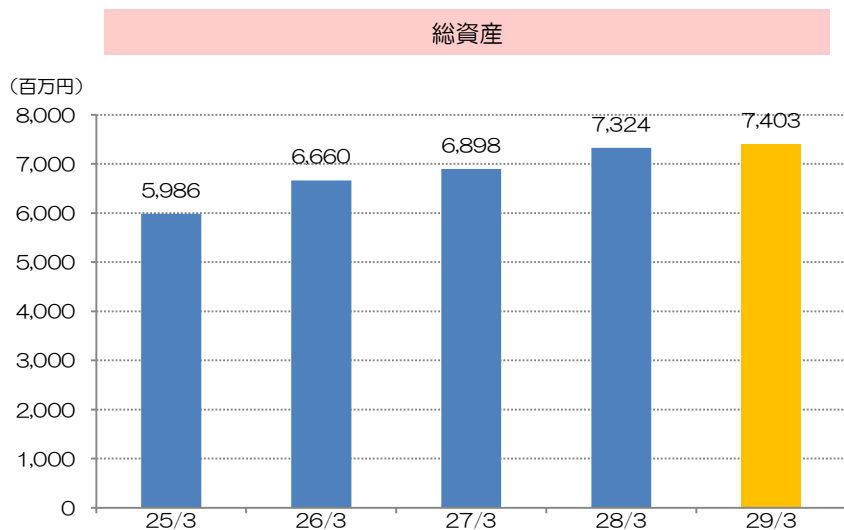
(単位：百万円)

顧客名	期別 27/3	28/3	29/3		
			金額	構成比	前期比
野村総合研究所	4,449	4,274	4,094	31.7%	95.8%
富士通※	2,011	1,939	2,319	18.0%	119.6%
みずほ情報総研	1,234	1,036	1,165	9.0%	112.5%
イオンアイビス	1,258	1,269	826	6.4%	65.1%
NECソリューションイノベータ	449	781	478	3.7%	61.3%
東証システムサービス	201	218	472	3.7%	216.2%
NR ネットコム	369	322	456	3.5%	141.4%
NR システムテクノ	59	256	345	2.7%	134.7%
かんぼシステムソリューションズ	109	182	326	2.5%	178.4%
伊藤忠テクノソリューションズ	262	224	285	2.2%	127.2%

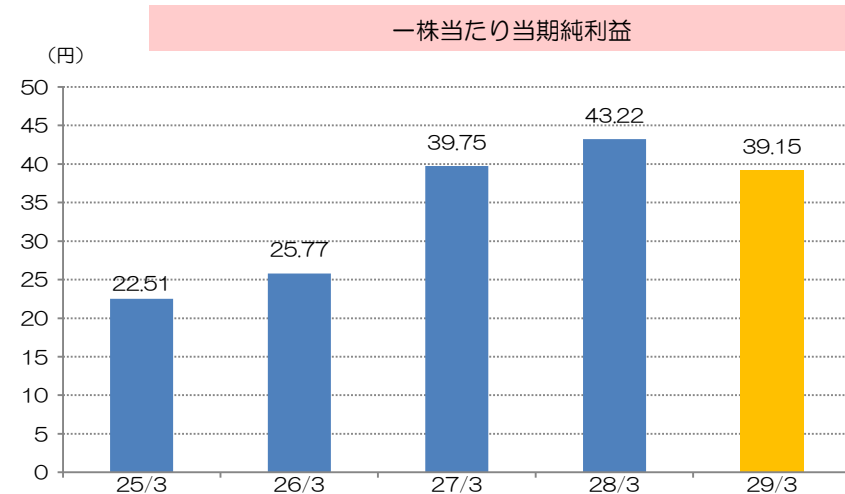
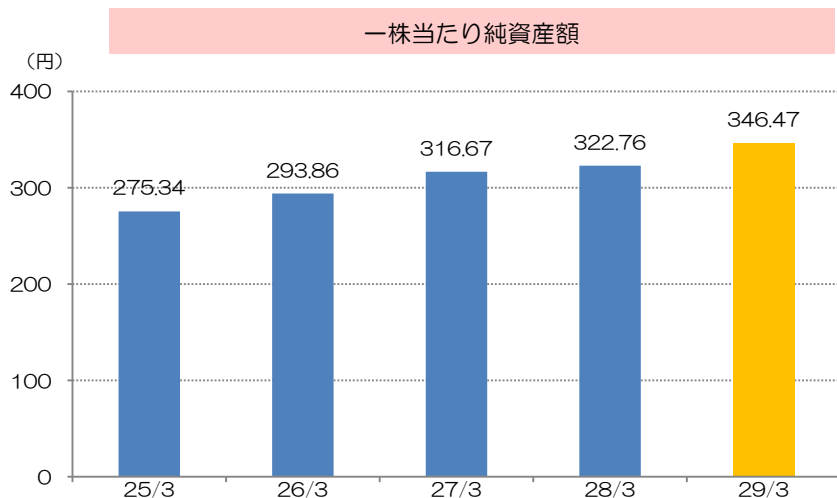
※平成28年11月1日付で、(株)富士通ソリューションズ、(株)富士通システム・リスト、(株)富士通システム・イーストが富士通(株)に統合されているため、数値は各社の合算数値としております。



6) 資産・資本関連



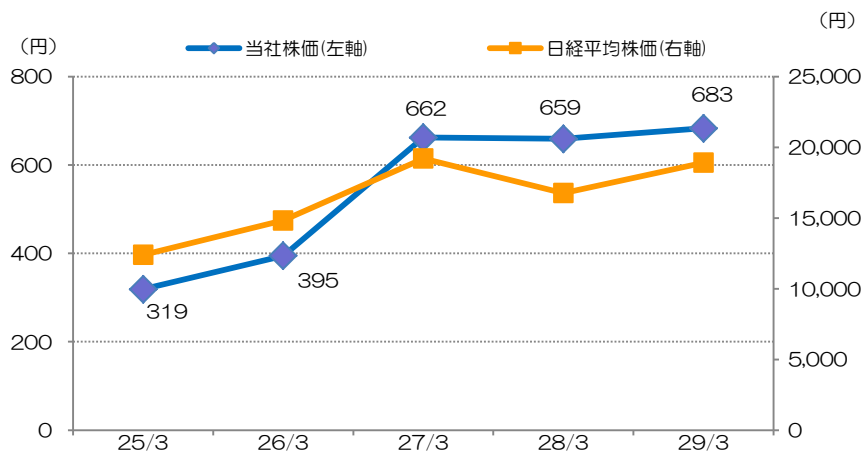
7) 株価・株式関連



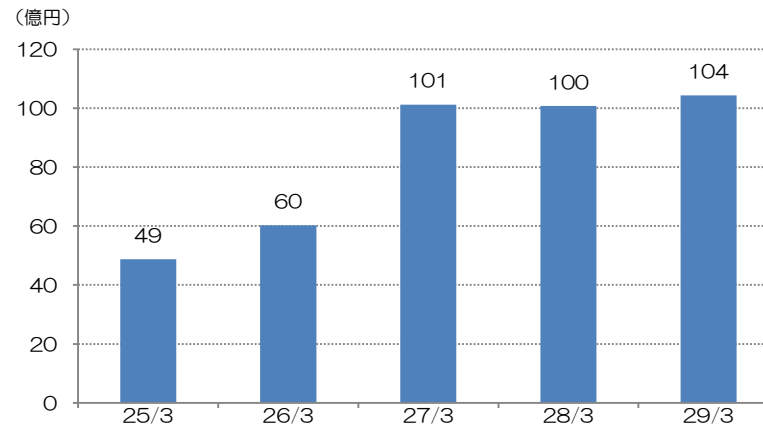
※ 平成26年10月1日付で1：2の株式分割を行っておりますが、平成25年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、各年度の一株当たり純資産額および一株当たり当期純利益の遡及修正を行っております。



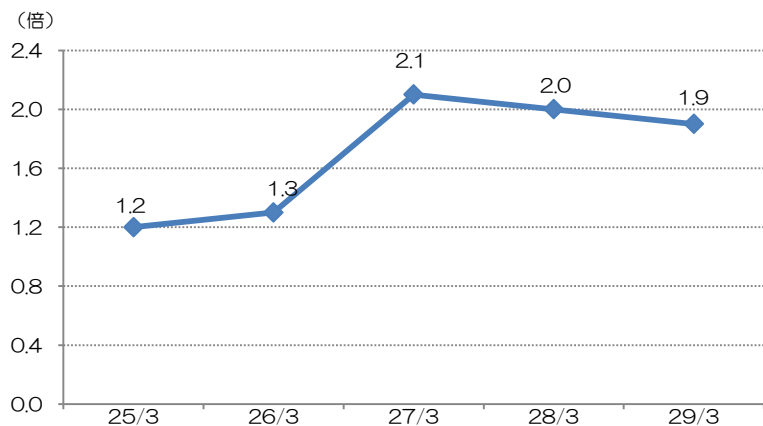
株価



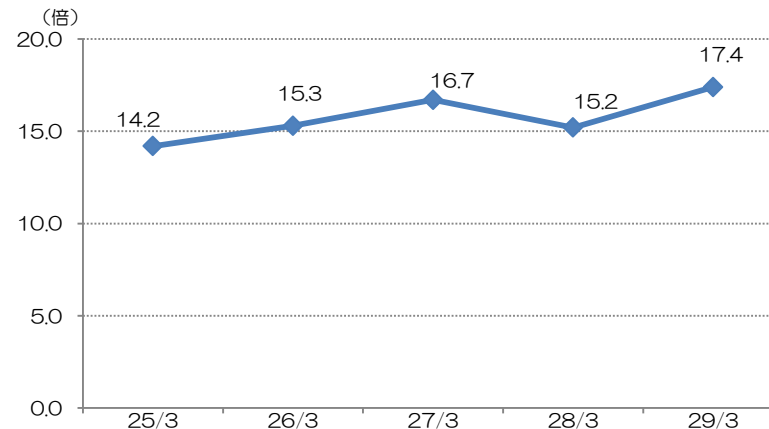
時価総額



株価純資産倍率 (PBR)



株価収益率 (PER)



※平成26年10月1日付で1：2の株式分割を行っておりますが、平成25年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、各年度の株価および一株当たり純資産額ならびに一株当たり当期純利益の遡及修正を行っております。

CUBE SYSTEM

株式会社 キューブシステム

<http://www.cubesystem.co.jp/>

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

そのため、様々な外部的要因の影響等により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性を多分に含んでいることをご承知おき下さい。